

単結晶Cu(In,Ga)Se₂太陽電池の 高効率化技術の開発

太陽光発電研究センター ¹化合物薄膜チーム、²先進多接合デバイスチーム 西永慈郎¹、菅谷武芳²



変換効率: Cu(In,Ga)Se₂太陽電池





単結晶CIGS成長法とCIGS太陽電池の高効率化技術

単結晶CIGS成長法

- バルク成長(融液成長)は高コスト
- 気相法にて単結晶基板上にエピタキシャ ル成長させ、単結晶CIGS成膜を狙う



高品質な単結晶CIGS成膜法を開発、 多結晶CIGS高効率化技術を採用し、 高効率単結晶CIGS太陽電池を実現

CIGS太陽電池の高効率化技術





成膜方法、デバイス構造

Al Grid



GaAs (001) p-type Sub.





Measurements

RHEED, SEM, TEM, SIMS
I-V curves and *C-V* measurements



SEM像: CIGS on GaAs (001) w/o KF-PDT







SEM像: CIGS on GaAs (001) with KF-PDT







STEM像: CIGS/GaAs(001)





二次イオン質量分析法(SIMS)



NaFドーピング(NaF cell 500°C), KF-PDT ($T_{sub.} = 350^{\circ}C$)







国立研究開発法人產業技術総合研究所



STEM像、STEM-EDX: CIGS(Ga濃度勾配)

BF-STEM image



3



J-V curves, N_{CV}: CIGS(Ga濃度勾配), Heat-light soaking (HLS)





まとめと今後の課題

◆ CIGSエピタキシャル成長

- MBE法により粒界のないCIGS層成膜に成功した
- KF-PDTにより、表面平坦性が向上する
- 高In組成CIGS層導入によって、転位が発生する

→ 太陽電池特性、今後の課題

- ・Ga濃度勾配、HLSによって変換効率20%を達成
- ・構造最適化、ドーピング等により高効率化を狙う

謝辞:本研究は経済産業省「革新的なエネルギー技術の国際共同研究開発事業」 により実施されたものである。関係各位に感謝致します。